

墨田区立学校適正配置

吾孺第一中学校・立花中学校 統合実施計画

平成24年6月

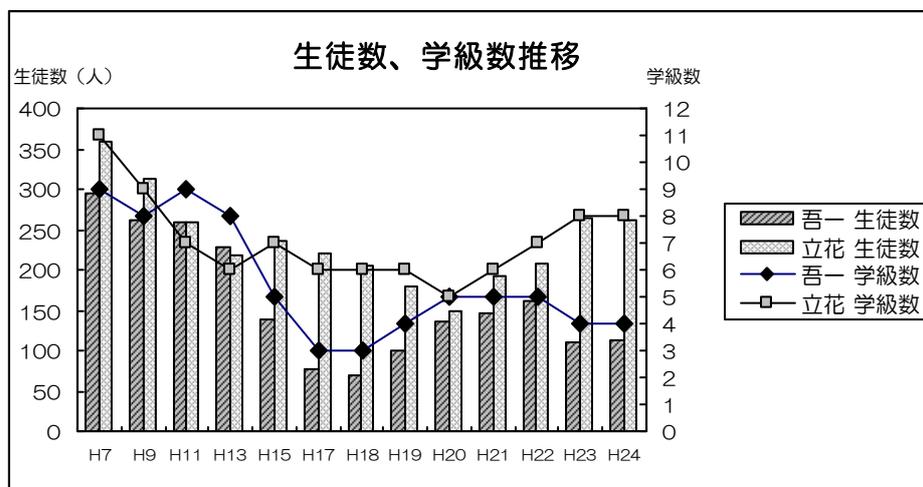
墨田区教育委員会

1 墨田区における適正配置のながれ

墨田区では、平成9年11月に「墨田区立学校適正配置実施計画」を策定し、区立学校の適正配置を実施してきた。

しかしながら、その後小・中学校ともにさらに小規模化が進んでいることから、児童・生徒により良い教育環境を提供するため、墨田区全域を視野に入れた「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画」を平成20年3月に策定し、教育環境の改善と学校教育の充実に向け取り組んでいる。

2 吾嬭第一中学校と立花中学校の現状



		H7	H9	H11	H13	H15	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
吾一	生徒数	295	261	259	228	139	78	68	99	137	145	162	110	114
	学級数	9	8	9	8	5	3	3	4	5	5	5	4	4
立花	生徒数	360	313	260	218	236	220	204	180	149	192	208	265	262
	学級数	11	9	7	6	7	6	6	6	5	6	7	8	8

吾嬭第一中学校の生徒数は昭和37年をピークに減少してきた。平成16～18年は各学年1学級まで減少したが、その後全学年で4～5学級程度で推移している。

立花中学校は、平成20年に全学年で5学級に減少したが、その後増加に転じている。

3 計画の性格

- (1) この計画は、吾孺第一中学校と立花中学校を対象として策定する。
- (2) この計画は、当該統合の実施における基本的な方向と具体的方策を示すものである。
- (3) この計画は、平成 20 年 3 月に策定された「新たな墨田区立学校の適正配置等実施計画」に基づき、実施するものである。

4 統合実施計画

- (1) 統合対象校

【校名及び所在地】

吾孺第一中学校（墨田区立花五丁目 48 番 9 号）

立花中学校（墨田区立花四丁目 30 番 18 号）

【各校の生徒数・学級数（平成 24 年 5 月 1 日現在）】

学年	吾孺第一中学校		立花中学校	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年生	34	1	99	3
2 年生	23	1	99	3
3 年生	57	2	64	2
合計	114	4	262	8

【学校施設の状況（平成 24 年度）】

	吾孺第一中学校	立花中学校
創 立	昭和 22 年 4 月 1 日	昭和 59 年 4 月 1 日
敷 地 面 積	7,927 m ²	9,004 m ²
運動場面積	2,922 m ²	2,459 m ²
教 室 数	普通教室 4 室	普通教室 8 室
	特別教室（通級含む）25 室	特別教室 18 室
校 舎 面 積	5,570 m ² （昭和 35.37.45 年新築）	4,423 m ² （昭和 59 年新築）
屋内運動場	1,332 m ² （昭和 58 年新築）	1,150 m ² （昭和 59 年新築）
プ ー ル	25×10m（昭和 46 年新築）	25×12m（屋内運動場の屋上）

(2) 統合の時期

平成 26 年 3 月末に吾孺第一中学校と立花中学校を廃止し、平成 26 年度から統合新校を設置する。

(3) 統合新校の位置

統合新校の位置は、現立花中学校の位置とする。

ただし、区実施計画上、現吾孺第一中学校の位置に統合新校の校舎を改築するための基本設計を平成 26 年度から行うこととしている。

(4) 統合新校の通学区域

吾孺第一中学校と立花中学校の通学区域を合わせ、「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画（平成 20 年 3 月）」に基づく通学区域の変更を実施した後の区域を統合新校の通学区域とし、平成 26 年度から実施する。

統合新校の通学区域	
文花二丁目	1～10 番、20 番
文花三丁目	21～24 番
立花一丁目	全域
立花二丁目	全域
立花三丁目	全域
立花四丁目	全域
立花五丁目	全域
立花六丁目	全域
東墨田一丁目	1～2 番、3 番 1～3 号、4～9 番

5 統合後の生徒数等の推計

学年	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	生徒数	学級数								
1 年生	107	4	97	3	122	4	94	3	84	3
2 年生	128	4	107	4	97	3	122	4	94	3
3 年生	133	4	128	4	107	4	97	3	122	4
計	368	12	332	11	326	11	313	10	300	10

生徒数：統合新校の通学区域の住民基本台帳人数（平成 24 年 4 月 1 日現在）に吾嬭第一
中学校と立花中学校の過去 3 年間の平均入学率を乗じた人数
学級数：文部科学省 35 人学級移行イメージにより算出した学級数

統合を実施することで 10~12 学級程度の学校規模になると推計される。

この統合を実施することにより、3 年間に学級編成替えが可能となり、安定した教育
環境を提供することができると思う。

6 計画実施にあたり

地域や学校関係者を構成員とする統合地域準備会及び統合学校準備会を組織し、統合
に関する諸課題について検討を行い、円滑に統合できるよう努めていく。